

2023年度
学校だより
第5号

こころ

牛久第一中学校
令和5年6月5日
文責 校長 本橋和久

日常の学びを京都奈良でも・第3学年修学旅行～5月21～23日

5月21日(日)から2泊3日、生徒たちは日常生活から離れ、宿泊を共にしながら非日常の世界に浸りました。学びの観点からは、授業で学んだことを実社会で活用する貴重な機会でした。第一級の教材である京都・奈良は生徒たちの学びを一層豊かで深くしてくれます。事前学習、本番の3日間、そして事後学習や振り返りを通して、ひとりひとりが自分の知のネットワークをさらに緻密に、芸術的な感性をさらに細やかに、友達や先生たちとの人間的なつながりをさらに強くしていくことを期待しています。事後学習の成果と絵付けした清水焼の湯呑の焼き上がりが楽しみです。



新幹線の車中で寛ぐ3年生



法隆寺の回廊のエンタシス



東大寺南大門の柱に驚愕



大仏殿の外景が皆を圧倒



絵付けは美術の授業そのもの



第1日を振り返る部屋長会議



2日目の朝の実行委員の仕事



新たな課題を部屋長会議で



お世話になった宿の方にご挨拶



千一体の千手観音を見終えて

民主性・公共性・卓越性を目指して ～ 生徒総会 6月2日(金)

「これからの牛久一中を決める大切な集会です。」生徒会長、照沼穂希さんのあいさつで始まった今年度の生徒総会。この日のために生徒会と中央委員会、各学年や各学級で意見を耕してきました。1号議案の生徒会スローガンは右のとおりです。想像力と互いを尊敬しあう気持ちがあれば、私たちは進化し続けられるという意味が込められているそうです。続く委員会活動計画、生徒会規約、生徒会本部公約、校則についての議事では多くの会員から質問があり、中央委員や生徒会本部が答弁しました。閉会后、会員たちは教室からタブレットを用いて議決を行いました。今回は学校運営協議会の委員さんにも総会を傍聴していただきました。地域と共にある学校を標榜する本校の公共性を満たすというねらいからです。

Imagination and Respect
～進化し続ける未来～



学校運営協議会も傍聴



次々に出る鋭い質問



本部役員の真摯な答弁



質疑を聴く会員たち

壮行会実施!～5月26日(金)

6月10日に牛久市大会で始まる総合体育大会に向けた壮行会が行われました。各部の部長が意気込みを語り、応援生徒を代表して吉満奏輔さんが激励の言葉を贈りました。最後に全ての部を代表して野球部の樋口翔一さんが力強く健闘を誓いました。時間を有効に使って練習してきた自分たちの力を信じ、正々堂々とプレイしてください。自分たちと試合をしてくれる相手へのリスペクトを試合後にも示してください。学校からも皆で応援しています。

PTA奉仕作業～6月4日(日)

PTA環境整備委員会主催による奉仕作業が4日(日)に行われました。前日までとは打って変わって素晴らしい好天のもと、第1学年の生徒・保護者を中心に学校に集まり、除草作業や樹木の剪定作業をしました。除草や剪定は学校の大きな課題のひとつです。生徒たちが安全に気持ちよく学校生活を送るためにも、教育環境の整備は最優先しなければなりません。これで夏休みまでの期間は、安心して教育活動を進めることができます。ご協力ありがとうございました。

